

聖愛

十二月号

原町聖愛保育園

二〇一〇年十二月一日発行



十二月はクリスマスの月です。イエス様の御降誕を記念して礼拝を守り、みなさんでお祝いしましょう。また、その時が来るのを待ち臨み、心静かに過ししましょう。

「キリストの誕生」(ルカ福音書2章31〜32節)

十二月に入ると、もうクリスマスです。キリスト(救い主)といわれるイエス様の誕生をお祝いする日です。多くの人達がお祝いますが、皆お知り合いなのでしょうか。もし、知らない人の誕生日をお祝いしているとしたら、ちょっとこつけないですね。私達も、イエス様の誕生日がなぜお祝いされるのか知りましょう。

神は、天地を創造し、最後に人間を創造して世界の善良な管理人としての役割を与えました。ところが、人間は神の期待に沿わず、自分勝手に行動するようになりました。例えば、平和をもちたらず為と云って戦争をする、自分の欲望を満たすために人を殺す、他人が困っていても見てみぬふりをするなど、教え上げたらしきりありません。

これは、宗教的な意味で罪とされ、死をもって償わねばならないのです。しかし、神は人類を滅ぼすことをなさらず、キリスト・イエスを人類の身代わりとしてこの世に遣されたのです。これがクリスマスの意味です。ですから、お祝いはいしてもバカ騒ぎをするお祭りではないのです。聖い心をもってクリスマスをお祝いしましょう。

また、イエス様の誕生に意味があるように、皆さんのお子さんにも誕生の意味があります。お子さんがこの世に「人」として生を受けた意味は何でしょうか。クリスマスは、その意味を考える時でもあるのです。

(社会福祉法人ちいろば会 理事長・牧師 佐藤 健)

12月の保育目標

主 題 0・1・2歳児「喜ぶ」 3・4・5歳児「喜ぶ」

暗唱聖句 「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 ルカによる福音書 2章15節

	保育目標	活動	保育者の配慮
てんし 0歳児	クリスマスの雰囲気を感じ、一緒に喜ぶ。	・木の実を使って遊ぶ ・粘土・なぐり描き ・追いかけてこ・ままごと ・音楽に合わせて体を動かす	・子どもたちがクリスマスの雰囲気を感じることができるよう保育者自身がクリスマスを楽しみにし、喜びや嬉しさが伝わるようにする。 ・保育者とのやりとりを心地よく感じられるように、優しい表情や言葉をかける。喃語に応え、ゆったりと過ごせる時間をつくる。
つぼみ 1歳児	・遊びを満足いくまでやってみる。 ・クリスマスを保育者と一緒に心待ちにする。	・小麦粉粘土、油粘土遊び ・なぐり描き・おいかけっこ ・プレゼント作り ・クリスマスの絵本、賛美歌を聴いたりする	・遊びを通してのやりとりが楽しめるよう、仲立ちをすると共に、互いの思いを代弁し、伝えるようにする。 ・クリスマスが楽しみに待てるようにするために、室内の装飾などの環境を整え、クリスマスの讃美歌を聞くなどして期待して待てるようにする。
はな 2歳児	イエス様が生まれたことを知り、クリスマスを楽しみに待つ。	・小人の家作り(小枝) ・絵合わせ・羊毛あそび ・ロープ遊び・かけっこ	・クリスマスを迎えるまでの期間、子ども一人ひとりが楽しみに待てるような雰囲気作りや環境構成を工夫する。 ・子ども自身が自らやってみようとする気持ちを損なわないように思いに寄り添う。また、出来た喜びを共感し、自信につながるよう援助する。
ファミリークラス	3歳児	<室内> ・プレゼント作り※1 ・マフラー作り ・染色 ・聖誕劇※4	・クリスマスの話を知り、友だちや保育者と一緒に喜び合えるよう、工夫して伝え、プレゼント作りなど心を込めて行えるように働きかける。※1 ・ボールを見て、つかんだり、投げたりして、身体を使って遊ぶ中で、ボールの投げ方やあたらないような逃げ方など知り、遊びのおもしろさを感じられるよう、誘いかける。※2
	4歳児	クリスマス喜びみんなでお祝い。	・プレゼント作りや歌や演じ物の準備を通し、クリスマスの出来事を知ることができるよう心を込めて取り組み、アドベントの時を大切に。※1 ・一人ひとり自分で目標を持って取り組めるように励まし、コツを知らせ、時にはできることが喜びとなるよう、意欲を引き出す。※3 ・世界の人々にも目を向け、みんなで考える。※4
	5歳児	クリスマス喜びを感じ、まわりの人と分かち合う。	・聖誕劇を通して、クリスマスの出来事を知り、神様の愛を感じながら、役を演じることも一つひとつ心を込めて行えるよう、伝え方や雰囲気作りを大切に。※4 ・遊びをすすめる中で、友だちと力を合わせたり、意見を出し合ったりする機会を促し、互いに影響し合って、遊ぶ楽しさ、おもしろさを感じられるように働きかける。※5



〈12月の予定〉

日	園の行事	職員の予定
1(水)	豆腐作り (ファミリークラス) 子育てサークル	職員会議
2(木)	小人さんの音楽会	園内研修
3(金)	避難訓練、合同礼拝	めぐみの会
5(日)	保護者会レクリエーション	
8(水)	祝会総合練習①	企画会議
9(木)	ポップコーン	
10(金)		タラントの会
11(土)	熊坂しのぶ先生相談会	
13(月)	祝会総合練習②	クリスマス祝会話し合い
15(水)		マネージャー会議
16(木)	祝会総合練習③	保育士部会
18(土)	クリスマス祝会	
20(月)	東北電力の話 (つき)	
21(火)	餅つき大会	
22(水)	子育てサークル	給食会議
23(木)	天皇誕生日 (休園)	
24(金)	しゃりん梅訪問 (つき) 久米本先生来園	クリスマスイブ賛美礼拝
27(月)	お弁当の日、お母さん勉強会 久米本先生来園	
28(火)	保育終了→午睡布団、着替え持ち帰り	



◎1月4日(火) 保育開始(普通保育)

餅つき 21日(火) 全園児

杵と臼を使っての餅つきは、子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。炊きたてのお米の匂いを嗅ぎながら、少しずつ粒から柔らかいお餅になっていく様子を目の前でみます。食材が変化していく様子を目にする事で、子どもたちの食に対する関心も深まっています。昔ながらの手法で行うことを大切に、みんなで体験し、おいしいお餅を雑煮やあんこなどで味わいます。

子育て相談会 11日(土)

子育てでお困りのことなどを、臨床心理士の先生に相談できます。詳しいことについては、後日お知らせいたしますので、ご希望の方はお申込み下さい。

送迎の際の駐車について(お願い)

寒くなると、エンジンを掛けたままにしがちですが、車上荒らしの防止(以前被害に遭ったケースがあり)や、自然環境の保護のためにも、エンジンの停止及び、鍵の施錠をお願いいたします。

また、正門前と教会前は、非常時のために常にスペースを空けておりますので、駐車なさらぬようくれぐれもご注意ください。(黄色の斜線部分は駐車禁止区域です。ご協力お願いします。)

お知らせ

- 「貸し出し図書」がさらに充実しました。新しい絵本も入りましたので、ぜひご利用下さい。
- 布団を持ち帰りますので、日光消毒や洗濯をお願いします。10日(金)、28日(火)。28日(火)は、着替えも持ち帰ります。
- 風邪やインフルエンザが流行する時期です。予防が肝心です。家族揃ってうがいや手洗いの励行につとめましょう。また、風邪の症状が出た場合は早めに受診し、インフルエンザと診断された場合は、すぐに保育園に連絡して下さい。
- 今月の保育料の引き落とし日は12月27日(月)です。残高不足で引き落とし不可能がないよう、ご確認ください。
- 大槻麻喜先生が、結婚をして、山内姓になりました。よろしく申し上げます。

クリスマス テーマ「喜びのおとずれ」



イエス様がお生まれになった嬉しい出来事を、みなさんと共に喜び合います。

11月28日(日)よりアドヴェントに入り、少しずつ近づくと、イエス様の御降誕を心待ちにします。

《2010年度 クリスマス祝会》

- ・日時 12月18日(土) 午前9:00~11:30
- ・場所 原町聖愛保育園ホール
- ・対象 全園児、保護者、職員
- ・内容 礼拝 午前9:00~ 祝会 午前9:40~

＜保護者の演じ物の練習＞

日にち：12月9日(金)、14日(火)

時間：午後7:00~8:00ころ 場所：原町聖愛保育園ホール

＜貸し出し絵本＞ 貸し出し日 毎週金曜日

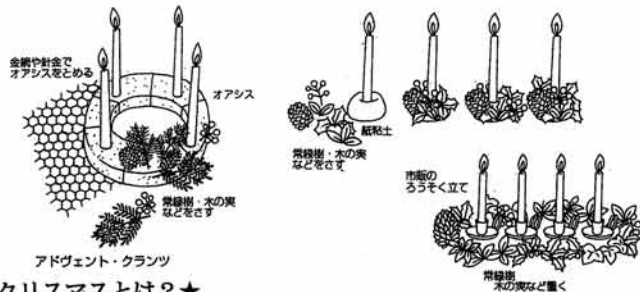
クリスマスにちなんだ絵本を準備しました。是非お子さんと一緒にご覧になって、家庭でもイエス様の御降誕を心待ちにしましょう。

喜んでクリスマスを迎えられるように

★アドヴェントとは？★

キリスト教の暦でクリスマスを心待ちにし、イエス様の誕生の日を迎える準備する期間を「アドヴェント」と言います。アドヴェントとは日本語で「待降節」又は「降臨節」と言い、クリスマスの4週間の日曜日から始まります。クリスマスツリーを飾り、克蘭ツ(リースの上に4本のろうそくを立てた物)を作って毎週ろうそくをともしていき、4本目のろうそくに火を付けた週に、12月25日のクリスマスがやってきます。

園では、リースや克蘭ツを作り、その克蘭ツを囲んで、礼拝を守りながら、みんなで一緒にクリスマスを楽しみに待ちます。



★クリスマスとは？★

クリスマスは、救い主イエス・キリストの誕生を祝う記念の日です。「キリスト」(救い主)と「マス」(祭り、礼拝)の二つの語が示す様に、神の贈りものとしてイエスの誕生を喜び、神に礼拝をささげる時なのです。クリスマスは単なる「誕生祝い」ではありません。この出来事を通して示された神の大きな愛を感じ、神が私たちと共にいてくださることを知ることが大切です。

子ども達と共に、喜びと感謝をもってクリスマスを迎えましょう。

★クリスマスプレゼントとは？★

神様は、ご自分の独り子イエス・キリストをすべての悩み苦しみの根源である罪から救うために、贈り物として私たちにくださいました。このように、神様が私たちに贈り物をくださったことが、クリスマスプレゼントの起源です。

他にも、聖ニコラスが困った人に贈り物をしたこと、また、イエス・キリストの誕生の際に東方から来た博士達が贈り物を携えてきたことなど、幾つかいわれています。

せいあいまつりのご協力ありがとうございました

役員の皆様をはじめ、保護者の方々のご協力により、盛大に行うことが出来ました。

収益金は、236,874円です。ありがとうございました。